

千葉教育

蓮

令和2年度
No.662

千葉の子どもたちの未来のために

特集

千葉県にオリンピック・パラリンピックがやってくる！
～「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育」の取組～

○シリーズ 現代の教育事情

順天堂大学スポーツ健康科学部准教授
スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課
県教育庁企画管理部教育政策課
県立東金特別支援学校

渡 正

○提 言

国際パラリンピック委員会 教育委員会委員 マセソン美季



千葉県総合教育センター

◆学校自慢	地域とともに歩む柏第一小学校	柏市立柏第一小学校長	山辺振一郎
◆提言	学びを「生きる力」につなげるために活用できるパラリンピック教育	国際パラリンピック委員会教育委員会委員	マセソン美季…2
シリーズ 現代の教育事情 千葉県にオリンピック・パラリンピックがやってくる!～「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育」の取組～			
■パラリンピック教育をいかなるものへと想像／創造していくべきか	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	渡	正…4
■オリンピック・パラリンピック教育におけるスポーツ庁の取組について	スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課		…6
■「オリンピック・パラリンピックを活用した教育」の取組について	県教育庁企画管理部教育政策課		…8
■子供主体のオリンピック・パラリンピック教育の実践	県立東金特別支援学校		…10
私の教師道			
■学校を創る	ピンチをチャンスに	印西市立高花小学校長	高塚 啓子…12
■学校を支える	「子供たちを核とした持続可能な地域社会の絆づくり」を目指して ～学校における教育環境づくりを通して～	八千代市立萱田小学校教頭	向 智広…14
■学校を動かす	全ての人が幸せになれるように関わる	山武市立成東東中学校教諭	在原 徹…16
■子供を知る	初任者研修を通して	横芝光町立上堺小学校教諭	内田 佑介…17
■子供を知る	初任者研修を終えて	富里市立富里中学校教諭	高田 俊介…17
■授業を創る	子供の心に火を点ける理科授業を目指して	鎌ケ谷市立道野辺小学校教諭	横山 健太…18
■授業を創る	ICT機器を活用した授業実践と授業改善の取組	船橋市立御滝中学校主幹教諭	谷田部健一…20
活・研究 長期研修生からの報告			
■令和元年度長期研修生 研修主題一覧	県総合教育センター研修企画部		…22
■小学校編	書くことの学習指導における深い学びの実現	一習志野検定本作りを通して～ 習志野市立香澄小学校教諭（前習志野市立大久保小学校教諭）	小松代絵里…24
■特別支援学校編	障害者スポーツを主とした交流及び共同学習の在り方について	「心のバリアフリー」の意識を 高めるために効果的な授業モデルの構築～	県立千葉特別支援学校教諭 能登谷可子…25
ケーススタディ			
■学校施設の目的外使用について	和洋女子大学特任教授	柴内	靖…26
保幼小の連携			
■幼小職員合同の研修会	南房総市立嶺南幼稚園長	藤本	雅俊…28
教育の情報化			
■小学校プログラミング教育用コンテンツの紹介	県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当		…29
情報アラカルト			
■第3期教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」について	県教育庁企画管理部教育政策課		…30
学校 NOW！			
■先進校の取組	『誰もが住みやすい町 木更津』を目指して ～国際パラリンピック委員会公認教材 「I'mPOSSIBLE」で共生社会を考える～	木更津市立清見台小学校	…34
■学校歳時記	紙とデジタル	千葉大学教育学部特任教授	天笠 茂…36
◆発信！特別支援教育	特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興	～障害者スポーツの振興と地域交流の推進～	県立八日市場特別支援学校…38
◆千葉歴史の散歩道	千葉の地層10選	～千葉には魅力的な地層がいっぱい～	県教育庁教育振興部文化財課文化財主事 後藤 亮

道 標

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会の多方面に様々な影響を与え、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）の開催も延期を余儀なくされた。

このような状況ではあるが、現在、県内各学校では、2017年4月に策定された「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針」に沿って、四つのプロジェクト（「おもてなし」、「心のバリアフリー」、「スポーツ」、「グローバル」）が目指す児童・生徒の姿の実現に向け、学校の特色や実態、地域の実情等に応じた様々なオリンピック・パラリンピック教育（以下、「オリパラ教育」）に創意工夫して取り組んでいるところである。東京2020大会は延期となったが、オリパラ教育を浸透させる期間が

延長されたのだと考えれば、大会の延期も前向きに受け止められるであろう。

ところで、本年2月に第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」が策定された。その中では、国際社会の担い手として求められる能力を持った子供たちを育成するために、オリパラ教育をレガシー（遺産）として活用する必要性が述べられている。

各学校が、新たな教育振興基本計画を踏まえながら、オリパラ教育を通して子供たちに具体的にどんな力をレガシーとして身に付けさせていったらいいのか、自校の取組を振り返り、より深めるために、本号の特集がその一助となれば幸いである。